



12月9日応接室において、瑞宝単光章の叙勲伝達式が行われました。

このたび受章された西尾政男さんは、土別地方消防事務組合剣淵町消防団員として36年余り従事され、うち6年間は副団長として後輩の育成にも努められました。

この日、内閣総理大臣からの表彰状及び勲章が贈呈されました。



12月13日応接室において、剣淵町稲作振興会から学校給食用食材が寄付され目録が贈呈されました。

今回寄付されたのは、新米180kg（内うるち米90kg、もち米90kg）です。

剣淵町稲作振興会会長の菅原達也さんは、「子どもたちに剣淵町で作られたおいしいお米を食べて欲しい」とおっしゃられていました。



12月21日町長室において、農業委員会から剣淵町農業振興施策等に関する意見書が提出されました。

今回提出された主な意見は、土地改良事業の助成拡充と事業継続の要望など6項目が提出されています。

この意見書をもとに1月21日に農業委員会と懇談会が開催されています。



12月27日応接室において、社会福祉事業関係団体功労者表彰の伝達式が行われました。

このたび表彰された渡辺祐一さんは、社会福祉法人剣淵北斗会理事として、西原学園及び北の杜舎の施設長を23年間従事され、今もなお理事長としてご尽力いただいております。

この日、厚生労働大臣からの表彰状と記念品が贈呈されました。



12月30日役場庁舎正面ロビーにおいて、北ひびき農業協同組合から鏡餅が寄贈されました。

毎年寄贈していただいているこの鏡餅は、剣淵町産のもち米を使用しており、総重量約45kgです。

西本代表理事組合長は「今年は春季の少雨の影響もありましたが、平年並みの品質、収量となりました。」とおっしゃられていました。



12月31日から1月1日にかけて絵本の館駐車場において、第13回カウントダウン年越し花火打上と餅まきが行われました。

このイベントは、町を盛り上げようと、商工会青年部と町内青年有志が中心となって開催しています。

会場には町内外から多くの方が訪れ、豪華景品が当たる引換券が入った福餅拾いを楽しみました。